

トークイベント 『器の旅を語る』

黎明館主任学芸専門員

3/27(土) 柴田 昌平監督 × 十五代 沈壽官

3/28(日) 柴田 昌平監督 × 深港 恭子



ゲスト 十五代 沈壽官

3/27(土)15:00~16:00

1959年生まれ。早稲田大学卒業後、イタリア国立美術陶芸学校で学び1999年十五代を襲名。2010年パリのエトワール美術館にて「歴代沈壽官展」、2018年「薩摩焼420年沈壽官窯展」を開催。本年1月文化庁長官により感謝状が贈られ、またPFV(プリムム・ファミリエ・ヴィニ)賞にて世界選抜5社に選出される。

ゲスト 黎明館主任学芸専門員 深港 恭子

3/28(日)15:00~16:00



1969年生まれ。西南学院大学卒業後、1993年鹿児島県歴史資料センター黎明館資料調査編集員、2008年薩摩伝承館学芸員、2016年黎明館主任学芸専門員美術・工芸(薩摩焼)担当となり現在に至る。2018年、明治維新150周年記念黎明館企画特別展「華麗なる薩摩焼—万国博覧会の時代のきらめき—」を担当。

監督 柴田 昌平



1963年生まれ。映像作家。NHK、民族文化映像研究所を経て、現在は映像制作会社プロダクション・エイシア代表。初監督作『ひめゆり』(2006)は、キネマ旬報ベストテン文化映画1位など8冠を受賞。フランスとの国際共同ドキュメンタリー『千年の一滴 だし しょうゆ』は、ヨーロッパほか世界各地で上映される。

定員 各日 25名

参加費 1,500円
(鑑賞券・お飲物付き)会場 7Fパーティールーム
(ルーフガーデンレストラン横)

映画「陶王子 2万年の旅」

上映期間：3/27(土)~4/1(木)

私たちの日常を彩る器はどのようにして生まれてきたのか。土をこねて火に入れ土器が生まれたのが、およそ2万年前。陶磁器の始まりから現在・未来まで、カメラは青森から日本各地、中国、メソポタミアからマイセン、セーヴルへ、さらには宇宙にまで飛んでその歩みを追う。器の向こうに人類の探究心と知恵が見えてくる知的ドキュメンタリー。

